

焼尻島（羽幌町）

羽幌港からフェリーで55分、高速船だと33分で着く小島。天売島と同じ周囲約12kmで、島内観光はレンタサイクルやジャンボタクシーなどが便利だ。オスメポイント、うくいす谷、イチイやミズナラがうっそうと茂る自然林の散策路にあり、樹齢300年以上のアカエノマツ・神居の松などの巨木は迫力満点。オンコの虫は約5万本のオンコが生息する森で、積雪や強風による珍しい形の木も見られる。島の中央に広がるめん羊牧場では、サフォーク種の羊が牧草地で草をはむ光景が牧歌的だ。

■焼尻観光案内所 TEL.01648-2-3993

天売島（羽幌町）

羽幌港からフェリーで、日本海にふたごのように浮かぶ焼尻島を経由して1時間30分、高速船で1時間。周囲約12kmの小島で、絶滅の危機に瀕している海鳥・オロロン鳥をはじめ、様々な海鳥が生息する海鳥の家園だ。ガラス張りの船底から神秘的な海の世界を散策できる海底探勝船おろろん号は、約1時間10分かかり島を1周。海から垂直にそそり立つ奇岩と約60万羽の海鳥・ウトウの営巣風景が眺められる赤岩展望台、百数十mにも及ぶ断崖絶壁が連なる天売最大のおオロロン鳥コロニー・千鳥ヶ浦周辺を望む鶴音崎展望台など、天売ならではの景勝地が点在する。豊かな海の幸も楽しみだ。島の散策はレンタサイクルが楽しい。

■天売観光案内所 TEL.01648-3-5401

しよさんべつ天文台（初山別村）

東西約4キロメートル、南北約2キロメートルにわたって広がる高層湿原。湿原の中を走る一周約3.5キロメートルの木道や展望台から、エゾカンゾウやミスバショウ、ヒオウキアヤメなど200種類の花や植物を観察できる。

■初山別村字豊岬130番地1 TEL.01646-7-2539

北海道海鳥センター（羽幌町）

天売島に生息・飛来する海鳥を中心に、野鳥や渡り鳥の生態を紹介している。海鳥に関する研究についてのパネルや映像、天売島西海岸にある海鳥のコロニーを再現したジオラマもある。

■羽幌町北6条1丁目 01646 (9) 2080

旧花田家番屋（小平町）

ニシン漁最盛期にヤン衆の宿泊場所として賑わった番屋。当時使用されていた生活用具や漁具がそのまま保存・公開されている。大きな木材がふんだんに使われ、2階まで吹き抜けになっているなど、豪華なつくりが往時の繁栄ぶりを物語っている。

■小平町字鬼鹿広富35-2 TEL.0164-57-1411 (旧花田家管理事務所)

黄金岬（留萌市）

日本海を一望できる夕陽の名所。かつてはニシンの干石場所と呼ばれ、水平線から押し寄せるニシンの背鰭が夕陽に染まり黄金色に輝いて見えたという。岬には「海のふるさと館」があり、ニシン漁の文化について知ることができる。

陣屋展望台（増毛町）

秋田藩元陣屋第二台場があったことから名付けられた展望台。開国当時に北辺警備のために購入された大砲が設置されており、実際に触れることができる。日本海に沈む夕陽を見る絶好のポイント。

